

→p.146 ~ p.147

- 1 (1) (例) 輸出用に買い占めたため、国内で品不足になったから。
 (2) ア, ウ, エ (3) ウ
 (4) ウ
- 2 (1) Iカード—イ できごとc
 IIカード—ウ できごとb
 IIIカード—ア できごとa
- (2) (例) 米の買い占めがおこり、米の値段が上がったから
 (3) (例) 国内総生産が急激に増加し、自動車保有台数も増えて、くらしが豊かになった。

解説

- 1 (1) まず生糸は絹の原料であることを理解する。生糸が開国後の貿易で主要輸出品となったため、国内では生糸が品不足となり、絹の生産量が減って価格が上昇した。
- (2) イ…全体の就学率が50%に達したのは1885年ごろのこと。男子の就学率は学制発布から数年後に50%をこえたが、女子の就学率は低い状態が続いた。日露戦争後には男女の差はほとんどなくなり、就学率も100%に近づいた。
- (3) 綿糸輸出量は1890年代後半から急速にのび、下関条約が結ばれた1895年の2年後に輸入量をこえている。ア…第1回衆議院議員総選挙は1890年。このころ輸出はほとんど行われていない。イ…内閣制度がつけられた1885年には、生産量(棒グラフ)は輸入量(点線)より少ない。エ…甲午農民戦争は日清戦争が始まる前の1894年。翌年に生産量が6万トンをこえている。
- (4) 日露戦争が戦われた1904, 1905年に、軍事費・軍事費の割合とも急激に高くなっている。ア…日清戦争は1894年から。2億円をこえるのは日露戦争が始まった1904年が初めて。イ…日清戦争後、軍事費は横ばいだが軍事費の割合は減少傾向にある。これは国家財政の総額が増加傾向にあったことを示している。エ…1905年の終戦の翌年の1906年に軍事費は急減している。
- 2 (1) ア…昭和時代の金融恐慌(1927年)の様子。続いて、世界恐慌(1929年)の影響で、昭和恐慌におそわれた。イ…第一次世界大戦中(1914~1918年)の大戦景気の様子。海運業や造船業によってにわか大金持ちになる「成金」が現れた。ウ…第一次世界大戦終結後の様子。不

景気が広まる中で、関東大震災がおこり(1923年)、経済に大きな打撃をあたえた。

- (2) 資料2の「米の買い占めをし」、「不当な利益をむさぼる」の部分に着目する。1918年からロシア革命に干渉するためのシベリア出兵が行われたが、兵士の食料として大量の米が必要になると見こんだ米屋が米を買い占めた。この結果、市場に出回る米が少なくなり、資料3のような米価の急上昇をまねいた。
- (3) 資料4から、1960年から1970年の間に日本の国内総生産が大きくのび、アメリカ合衆国に次いで、主な資本主義国の中で第2位になったことが読み取れる。また、資料5から、自動車保有台数は、130万台から1720万台と10倍以上に増えている。

この時期、日本は高度経済成長とよばれる驚異的な経済発展をとげ、家庭電化製品や自家用車が普及するなど、国民の生活は豊かになっていった。高速道路や新幹線が開通し、1964年にはアジアで初めての夏季オリンピック・パラリンピック大会が東京で開かれた。